

30 ニホンスナモグリ

(スナモグリ科)

兵庫県ランク:C

Callianassa japonica

環境省ランク:指定なし

種の概要

北海道有珠湾から沖縄県に分布する。体長50mm。内湾の前浜干潟や河口干潟に巣穴を掘る。体は白くつやがあり軟弱。ハサミ脚は硬く、左右で大きさが著しく異なる。ハルマンズナモグリ(その他無脊椎動物Bランク)とは異なり、眼柄に対する眼の割合が小さく、3分の1以下。アナジャコ類が懸濁物食者であるのに対し、スナモグリ類は堆積物食者である。

主要な選定理由

人為性			生息環境の特殊性		学術性		
個体数激減	分布域に影響	営利目的捕獲	特殊生息環境	地域的孤立	分布が極限	分布の限界	希少
		△	○	△			○

県内分布

高砂市、姫路市、相生市、たつの市、赤穂市、洲本市

県内における生息状況及びその他特記事項

ランク変更なし。県内では播磨地域、淡路島で記録がある。県内の瀬戸内側における確認例は比較的多く、クロダイの餌用に採集する釣り人も見かける。現状において絶滅の危機に瀕しているとは言いえないが、本種の生息に適した開けた河口や前浜干潟は河川や海岸の整備事業などで減りつつある。

保護上の留意点

スナモグリ類は細砂質の干潟や砂浜に生息することから、埋め立てなどで生息域が破壊されないよう注意が必要。また、海岸整備などで他地域からの砂の導入などが行われた場合、このような小型の動物にとっては極めて大きな攪乱となる。



写真提供：増田修



写真提供：渡部哲也

【執筆者】 渡部哲也